

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
子どもの保健	1年	前期	講義	2単位	大窪 智美
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的な保健と子どもの保健の違いを理解する。 2. 子どもの成長発達の特徴を理解し、保育に活かすことができるようになる。 3. 子どもの病気を学び、健康観察や予防対策を実践できるようになる。 4. 保健活動における家庭・他職種・地域の役割を学び、保育現場において連携・協働の下、保健活動が実践できるようになる。 					
<p>○授業の概要</p> <p>子どもの健やかな成長と発達における保健活動の重要性を踏まえ、子どもの身体や精神に関する基礎知識、及び疾病の特徴を理解する。また、保健活動における連携の在り方について理解を深め、保健活動の実践力に繋げる。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：子どもの健康概念と健康指標</p> <p>第2回：子どもの身体発育及び運動機能発達とその評価</p> <p>第3回：子どもの生理機能の特徴と保育における留意点</p> <p>第4回：感染症の特徴</p> <p>第5回：ウイルスによる感染症と観察の視点</p> <p>第6回：細菌による感染症と観察の視点</p> <p>第7回：アレルギー性疾患と観察の視点</p> <p>第8回：消化器疾患と観察の視点</p> <p>第9回：呼吸器・循環器・神経系の疾患と観察の視点</p> <p>第10回：腎泌尿器・皮膚の疾患と観察の視点</p> <p>第11回：眼・耳・鼻の疾患と観察の視点</p> <p>第12回：子どもの生活環境と精神保健</p> <p>第13回：子どものこころの健康とその課題</p> <p>第14回：母子保健対策と子どもの健康</p> <p>第15回：家庭・他職種・地域の役割と保健活動における組織的取り組み</p> <p>定期試験</p>					
<p>○テキスト</p> <p>「授業で現場で役に立つ 子どもの保健テキスト」小林美由紀編著. 診断と治療社</p>					
<p>○参考書・参考資料等</p> <p>「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省. フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省. フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館</p>					
<p>○学生に対する評価</p> <p>定期試験50% 小テスト50%</p>					

